

**『みんなで考えよう』投稿原稿作成の手引き**  
(2017年11月1日制定、2018年11月1日改正、2019年8月27日改正)

1. 原稿は、既にブログや SNS などでの発表済みの場合、その旨を原稿に示した上で投稿可。

2. 原稿作成に際しては、下記の設定に基づき作成。別途フォーマット参照。

(1) 用紙サイズ A5 (書式設定に注意)

(2) 余白、文字数×行数

上：20mm 下：20mm 左：15mm 右：15mm 綴代(とじしろ)：0mm

31文字×29行

(3) 文字の向き、段組み

横(左から右)。段組みはしない。

(4) タイトル／著者名、本文の書き始め

タイトルは、原稿の1行目に、書式を中央揃えにして「MS ゴシック」12pt。

副題がある場合は、タイトルの下に、書式を中央揃えにして「MS ゴシック」12pt。

著者名は、タイトル(副題)の下に、書式を右揃えにして「MS ゴシック」10.5pt。

本文は、著者名から一行空けて、段組みなしで書き始める。

(5) 小見出しのフォント

小見出しは、書式を左揃えにして、「MS ゴシック」を原則とする。

文字ポイントは10.5pt。

(6) 本文のフォント

「MS 明朝」＋「Century」(平仮名・片仮名・漢字：MS 明朝＋英数字：Century)

を原則とする。10.5pt を基本に書き進め、変更する場合も必ず9pt以上にする。太字・下線・斜体使用可。

(7) 投稿枚数

提出する際は所定の設定に従い(フォーマット参照)、1つの原稿につき10頁以内(画像・タイトル含む)とする。ただし、執筆者が複数名の場合、投稿枚数の上限は20頁とする。超過する場合は応相談。

(8) 著作物の扱いについて

他者の著作物の一部を使用する場合、適切な形式、方法で引用すること。原則、引用・参考した文章の情報（著作者、作品名、書名等）を末尾に掲載すること。また、原則、著作者本人との連絡が必要な場合には、執筆者と著作者の間で連絡を取ること。いかなる場合にも、生じた問題について、『みんなで考えよう』編集委員会および哲学プラクティス連絡会は一切の責任を取らない。

#### (9) 画像の使用について

画像を使用する場合は、肖像権等に注意すること。原則、人の顔が写っているものを使用する際は、写っている本人の許可・撮影者の許可を得ること。なお、画像の使用によって生じた問題について、『みんなで考えよう』編集委員会および哲学プラクティス連絡会は一切の責任を取らない。

#### (10) 個人情報の取り扱いについて

個人・団体を特定できる情報の扱いには注意すること。原則として、名前等の情報を出す場合は本人の許可を得ること。得られなかった場合は、仮名を使うなどプライバシー保護の配慮すること。生じた問題について、『みんなで考えよう』編集委員会および哲学プラクティス連絡会は一切の責任を取らない。

#### (11) その他

- ・ ページ数は入れない。
- ・ 引用文献、注を設ける場合は、文末に記載。また、注を付ける際は、Wordなどの注機能は使用しない。
- ・ 写真や図、表を掲載する場合、タイトルをつけ、出典も明記すること。タイトルをつける場所は、写真と図の場合は、写真と図の下に。表の場合は、表の上に記載。